

## 秋期沖曳網によるヒウオ混獲状況調査

久米弘人

### 1. 目的

漁業者が使用する目合いの小さな沖曳網を用いた試験操業により、その混獲状況や採捕されたヒウオの特徴等を調査した。

### 2. 方法

令和元年11月9日に、沖曳網漁業を操業している漁業者を備船し、野洲市菖蒲沖、大津市真野沖、沖島沖で調査を実施した(図1)。採捕に用いた沖曳網は袋網の網目が2mmのもの(図2)を用い、曳網速度は0.3~0.4m/秒であった。また曳網距離は場所に応じて変え、140~200mであった。曳網は各地点で2回行った。混獲されたヒウオは曳網ごとに尾数、体型を測定し、一部は耳石を取り出し、その

日周輪からふ化日を推定した。

### 3. 結果

調査したすべての地点でヒウオの混獲が確認されたが、曳網ごとの採捕尾数は、0尾から5,657尾と大きく変動した。平均体長は17.5mmから28.3mmで全体の平均は24.9mmとなった(表1)。ふ化日については、全体で170個体から耳石を取り出して、ふ化日を推定したところ、9月15日から10月27日までにふ化したヒウオが採捕され、多くが9月下旬から10月上旬にふ化したものであった(図3)。

表1 ヒウオ採捕結果

|     | 水深(m) | 採捕尾数  | 平均体長(mm) | 標準偏差 |
|-----|-------|-------|----------|------|
| 菖蒲1 | 2.9   | 337   | 25.4     | 3.6  |
| 菖蒲2 | 2.9   | 360   | 25.0     | 2.3  |
| 真野1 | 7.9   | 0     | -        | -    |
| 真野2 | 8     | 2     | 28.3     | 0.3  |
| 沖島1 | 3.5   | 107   | 17.5     | 2.8  |
| 沖島2 | 4.6   | 5,657 | 26.6     | 1.9  |
| 全体  |       | 6,463 | 24.9     | 3.9  |

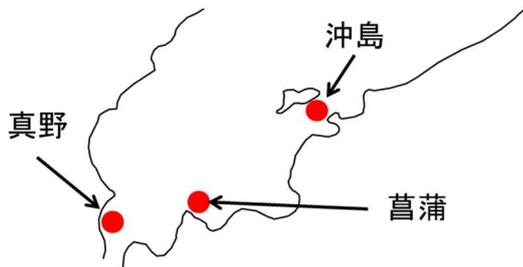


図1 採捕地点位置図

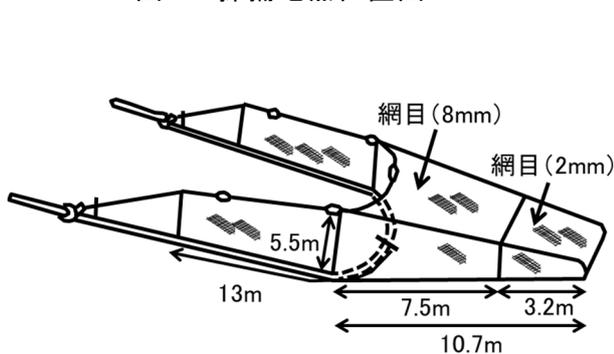


図2 調査に用いた沖曳網

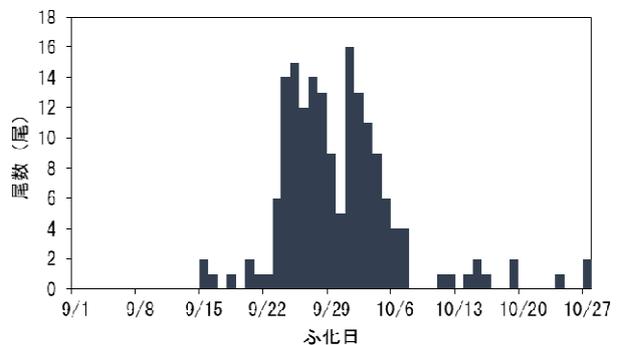


図3 沖曳網で採捕されたヒウオのふ化日組成 (N=170)